



西尾いきものふれあいの里だより

12月号

2024.12.1

さとやま

12月の里といきもの



今年は、暖かいと言うより暑い秋でしたが、11月になって急に気温の低い日があり、一気に季節が進みました。本来10月頃やってくるアサギマダラも、11月になってから目撃情報がありました。12月には冬らしい景色となっていくことでしょう。

この時期になると、センター入口の横にある木に赤い実がなります



これは、モチノキ科に分類される常緑の中高木、**クロガネモチ**の実です。日当たりの良い場所を好みますが、半日陰でも育ちます。耐寒性は普通ですが、耐暑性が高く、これからの温暖化にも耐えてくれそうです。

樹皮から「鳥もち」が採れることや、若い枝や葉柄が紫黒色を帯びており、葉が乾くと鉄色になることから、「黒鉄餅（くろがねもち）」と名付けられたと言われています。

その名が、「金持ち」に通じることから、縁起の良い木とされ、庭木として人気です。

クロガネモチは雌雄異株で、5月頃に、雄株には写真のような雄しべが発達し、雌しべが退化した雄花、雌株には雌しべが発達し、雄しべが退化した雌花が咲きます。その後雌株に実がなります。



クロガネモチの雄花

ところで、里ではこんな黒い実もみつかります



ネズミモチの花

モクセイ科に分類される常緑の高木、**ネズミモチ**です。やはり庭木や街路樹として利用されています。葉がモチノキ科のなかまに似ていること、果実が熟すと紫黒色になり、その形状がネズミの糞に似ていることから名が付けました。この木からは鳥もちは採れません。5月頃に咲く白い花は、形は同じ科のキンモクセイに似ていますが、独特の臭いがします。

他にも名前が似ている木の実があります

センリョウと**マンリョウ**



センリョウ

花



マンリョウ

花

葉

センリョウはセンリョウ科に分類される常緑低木で、葉の上に実がなります。また6月頃に咲く花は小さくて、花弁はありません。里では、実の色が赤いものに交じって、黄色いものがよく見られます。

マンリョウはヤブコウジ科に分類される常緑低木で、葉の下部に実をつけます。6月頃に白色または淡紅色の花が咲きます。葉の縁には波打つような鋸歯（きょし）があり、花や実がなくてもすぐにわかります。

ムラサキシキブとヤブムラサキ



どちらもシソ科に分類される落葉低木で、紫色の実をつけます。ムラサキシキブは、葉は無毛で、表面は滑らかです。実は葉の上に出るのでよく目立ち、庭木に利用されます。

ヤブムラサキは、葉に細かい毛が生えており、触るとふわふわとした感触があります。実は葉の下にでき、ムラサキシキブよりもやや大きく、毛が生えたがくに一部が包まれているので、控え目な感じです。花の形はどちらも似ています。

気温の低下とともに、美しく色付いた木の実を探してみましょう。

12月はこんな生きものも見られます

里の林では、赤く実った**フユイチゴ**の実が見られます。一つ一つに種が入っていてジャリジャリしますが、食べられます。

小草池の横の道の梅畑の**ガガイモ**の実や、あちこちの木に絡みついた**テイカカズラ**の二股の実から出た、綿毛の付いた種子は、風に乗って付近のものに引っ掛かっています。これらの綿毛は、タンポポのものと似ていますが、由来が違います。



万灯山へ向かう道では、**ジャノヒゲ**の実の青紫色が深くなっています。同じキジカクシ科に分類される**キチジョウソウ**は、11月頃から、赤く色づいています。

暖かい日には、**ムラサキシジミ**のような成虫越冬する蝶が、日向で体をあたためている様子が見られることがあります。

小春日和の一日、こんないきもの達を探して、里を散策してみませんか。

11月の行事紹介



(株)デンソー西尾製作所の社員86名の皆様により、花菖蒲の葉切り作業やセンター周りの清掃などのボラティア活動が11月16日(土)に実施されました。花菖蒲は冬を迎えるこの時期に葉切り作業を行い、養分を根に蓄えさせ、害虫の越冬を防ぎ、新芽が伸び易くするために行います。この作業のおかげで、6月初旬には立派な花を咲かせてくれることでしょう。また、清掃活動により園内がすっきりとなり冬を迎えられます。

12月の行事予定

1日(日)	自然の素材でクリスマスリースを作ろう	20名	AM 9:30~11:30	磯貝はるみ
-------	--------------------	-----	---------------	-------

内容：植物の観察をしながらリースの材料を採集します。自然の素材を生かした、いきものふれあいの里ならではのクリスマスリースを作ってみましょう。

22日(日)	正月飾りを作ろう	20名	AM 9:30~11:30	当園職員
--------	----------	-----	---------------	------

内容：縁起よく新年を迎えるために飾りたい正月飾りを作ります。里山の竹を使って「花器」を作り、縁起の良いとする松やセンリョウなどで心を込めて飾りつけを行います。

※12月の各講座は、講座開催日に材料費(300円/1作品)を徴収します。なお、22日の講座のお申込みは、大人2人分までの材料とし、お子さま等と一緒に作るようご協力ください。

1月の行事予定

12日(日)	お花炭を焼こう	20名	AM 9:30~11:30	判治和征
--------	---------	-----	---------------	------

内容：花炭は「飾り炭」ともいい、木の実や葉などの形をそのまま残して炭にしたものです。里山で採集した木の実などを空き缶に敷詰めて焼き、焼き上がった花炭は、竹の器に飾ります。

26日(日)	里山で野鳥を観察しよう	20名	AM 9:30~11:30	高田俊洋
--------	-------------	-----	---------------	------

内容：冬の里山で野鳥を観察します。北から渡ってきたカモの仲間を中心に里で冬を過ごす小鳥にも注目したいと思います。しっかりと防寒対策をしてお越しください。

- ◇ **参加受付**は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受付、来園、または電話受付、お申込みは本人、もしくはその同居家族までとします。なお、申込者が**4名以下の場合**は開講しません。
- ◇ **参加申込者**は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◇ **当日の天候により**、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、**参加費は無料**ですが、講座により**材料費は実費**を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◇ **各講座の詳細な内容**については、直接ネイチャーセンターにご確認

西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始[12/28~1/4] ◆発行 西尾市環境部 環境保全課